

都市再生整備計画 事後評価シート

亀戸三丁目地区

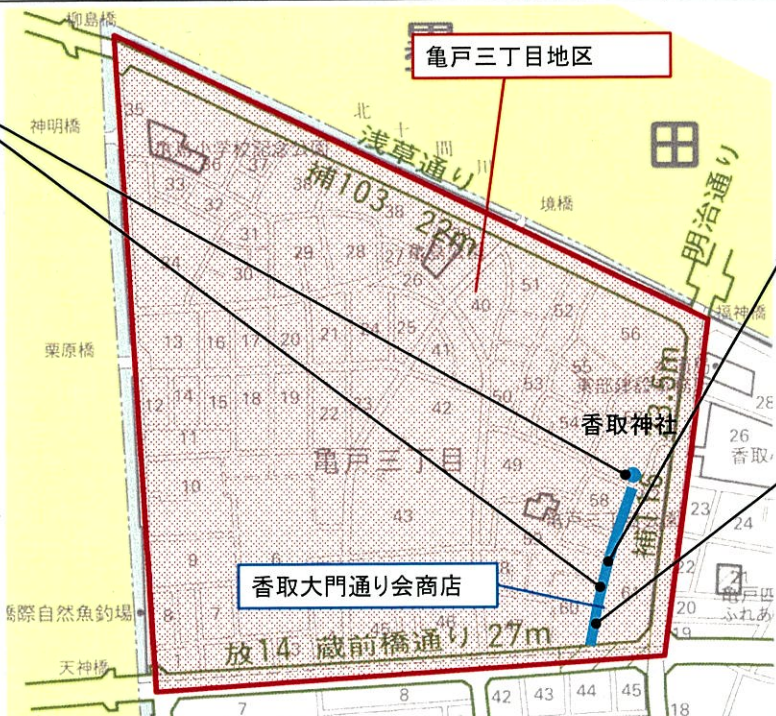
平成29年2月

東京都 江東区

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	江東区	地区名	亀戸三丁目地区	面積	34ha					
交付期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	123.4百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業(区道 城3号)、高質空間形成施設(公衆便所の改修等)									
		提案事業	地域創造支援事業(観光レトロ商店街モデル事業(ハード))、事業活用調査(事後評価調査)、まちづくり活動推進事業(観光レトロ商店街モデル事業(ソフト))									
	当初計画から削除した事業	基幹事業			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	地域創造支援事業(観光レトロ商店街モデル事業(ハード))、まちづくり活動推進事業(観光レトロ商店街モデル事業(ソフト))		社会資本整備総合交付金から東京都の補助金へ移行したため、関連事業としての位置づけとなった。		関連事業を含めた亀戸三丁目地区としての整備事業については、概ね変更がないため、目標、指標、数値目標への影響はない。					
	新たに追加した事業	基幹事業										
	提案事業											
交付期間の変更	当初変更	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度					
	指標1	商店街の通行者数	人/年	660,188	H21	757,000	H26	693,501	△	あり なし	目標値(歩行者と自転車通行数の計)の未達成部分は、自転車の通行数によるもので、歩行者数は目標を達成しており、一定の効果はあった。	
	指標2	通行者の観光客率	%	5.8	H21	14.0	H26	38.3	○	あり なし	昭和レトロをコンセプトにしたまちなみの創出や、電線地中化、カラー舗装等による下町生活等に会えるまちの形成を実施した。また、関連事業のなかで観光客のニーズにあった商店の進出等を促進したことにより、商店街の魅力が増し、大幅な観光客率の増加につながり、地区の新たな魅力・地域のにぎわいの創出に大きく寄与した。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1					
	その他の数値指標1	歩行者通行量	人/年	300,478	H21			396,948		あり なし	商店街の電線地中化、カラー舗装、さらに公衆便所の改修等により、安全で快適な歩行者空間を確保するとともに、利便性、快適性が向上した。よって、歩行者通行量は大幅に増加し、魅力ある豊かな歩行者空間の形成に大きく寄与した。	
	その他の数値指標2 その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況	・商店街に懐かしい雰囲気が見え、年間を通してイベント等も開催されるようになり、活気がでてきた。 ・歩道と車道が分離され、安全に歩けるようになった。 ・新しい店舗が出店され、観光と生活の場が融合した楽しい商店街になった。											
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング	事業がH27まで繰越し、効果発現状況を確認できる状況になかった。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●				
	住民参加プロセス	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築	商店会は、毎月1回 会合を実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 商店会、香取神社などが協力し、「スポーツ灯籠会プロジェクト」を開始した。				

様式2-2 地区の概要

亀戸三丁目地区(東京都江東区) 都市再生整備計画事業の成果概要																			
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値											
大目標:地区内に多く存在する寺社等の観光資源の活用と、新たな魅力・地域のにぎわいの創出 目標1:下町の生活・文化に出会えるまちの形成を図る。 目標2:魅力ある豊かな歩行者空間の形成を図る。 目標3:まちの魅力を広く知ってもらおうとともに、地域の活性化を図る。		商店街の通行者数	単位:人/年	660,188	H21	757,000	H26	693,501	H28										
		通行者の観光客率	単位:%	5.8	H21	14.0	H26	38.3	H28										
		空き店舗率	単位:%	18.2	H21	9.1	H26	5.7	H28										
■基幹事業 高質空間形成施設(公衆便所の改修等)  ■基幹事業 道路事業(区道 城3号 無電柱化事業)  □関連事業 観光レトロ商店街モデル事業 (地域連携モデル商店街事業)  □提案事業 事業活用調査(事後評価調査) 凡例 ■ 基幹事業 ■ 提案事業 □ 関連事業 ■ 基幹事業 高質空間形成施設(公衆便所の改修等) ■ 基幹事業 道路事業(区道 城3号 無電柱化事業) □ 関連事業 観光レトロ商店街モデル事業 (地域連携モデル商店街事業) □ 提案事業 事業活用調査(事後評価調査)  <table><tr><td>まちの課題の変化</td><td>達成されたこと</td><td> ・商店街から香取神社までの空間が統一したデザインとなり、観光客の増加、歩行者の増加により、地域のにぎわいが創出された。 ・歩行者やベビーカー、車椅子、障害者、高齢者、妊婦などが移動しやすいバリアフリーな歩行空間を確保することができた。 ・視線を遮る電柱や電線を地中化することにより、参道としての景観が向上した。 ・災害時の電線の被災を未然に防ぐことにより、災害時のライフラインを確保することができた。 ・観光客に対するニーズに対応する新規店舗の出店等もあり、観光客の増加につながり、商店街、香取神社を観光資源として活かせるようになった。 </td><td>新たな課題</td><td> ・観光客が食事をできる店が少ない。 </td></tr><tr><td>今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)</td><td colspan="4"> ・増加した観光客をさらに増やしていくために、お祭りやイベントなどの集客企画を積極的に展開できるよう支援を実施する。 ・商店会との連携を一層強化し、イベント等の宣伝・PR等を展開する。 ・豊かな歩行空間の維持・向上を図るため、通行・駐輪マナーの向上を図る。 ・ランチタイムにも人の流れをつくるため、空き店舗に対する飲食店の出店を促進する。 ・さらなる魅力の創出等により、何度も来訪してもらえるような“まち”となっていくよう、亀戸三丁目地区内外の観光施設や商店会、スカイツリー等との広域的な連携強化策を検討する。 </td></tr></table>										まちの課題の変化	達成されたこと	・商店街から香取神社までの空間が統一したデザインとなり、観光客の増加、歩行者の増加により、地域のにぎわいが創出された。 ・歩行者やベビーカー、車椅子、障害者、高齢者、妊婦などが移動しやすいバリアフリーな歩行空間を確保することができた。 ・視線を遮る電柱や電線を地中化することにより、参道としての景観が向上した。 ・災害時の電線の被災を未然に防ぐことにより、災害時のライフラインを確保することができた。 ・観光客に対するニーズに対応する新規店舗の出店等もあり、観光客の増加につながり、商店街、香取神社を観光資源として活かせるようになった。	新たな課題	・観光客が食事をできる店が少ない。	今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	・増加した観光客をさらに増やしていくために、お祭りやイベントなどの集客企画を積極的に展開できるよう支援を実施する。 ・商店会との連携を一層強化し、イベント等の宣伝・PR等を展開する。 ・豊かな歩行空間の維持・向上を図るため、通行・駐輪マナーの向上を図る。 ・ランチタイムにも人の流れをつくるため、空き店舗に対する飲食店の出店を促進する。 ・さらなる魅力の創出等により、何度も来訪してもらえるような“まち”となっていくよう、亀戸三丁目地区内外の観光施設や商店会、スカイツリー等との広域的な連携強化策を検討する。			
まちの課題の変化	達成されたこと	・商店街から香取神社までの空間が統一したデザインとなり、観光客の増加、歩行者の増加により、地域のにぎわいが創出された。 ・歩行者やベビーカー、車椅子、障害者、高齢者、妊婦などが移動しやすいバリアフリーな歩行空間を確保することができた。 ・視線を遮る電柱や電線を地中化することにより、参道としての景観が向上した。 ・災害時の電線の被災を未然に防ぐことにより、災害時のライフラインを確保することができた。 ・観光客に対するニーズに対応する新規店舗の出店等もあり、観光客の増加につながり、商店街、香取神社を観光資源として活かせるようになった。	新たな課題	・観光客が食事をできる店が少ない。															
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	・増加した観光客をさらに増やしていくために、お祭りやイベントなどの集客企画を積極的に展開できるよう支援を実施する。 ・商店会との連携を一層強化し、イベント等の宣伝・PR等を展開する。 ・豊かな歩行空間の維持・向上を図るため、通行・駐輪マナーの向上を図る。 ・ランチタイムにも人の流れをつくるため、空き店舗に対する飲食店の出店を促進する。 ・さらなる魅力の創出等により、何度も来訪してもらえるような“まち”となっていくよう、亀戸三丁目地区内外の観光施設や商店会、スカイツリー等との広域的な連携強化策を検討する。																		